

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月31日(木) 三回戦

1 コート 第3試合 本庄総合公園体育館(シルクドーム)

チームA		17 - 14		チームB
土浦日本大学	77	18 - 7	53	福井商業
茨城		16 - 21		福井
		26 - 11		

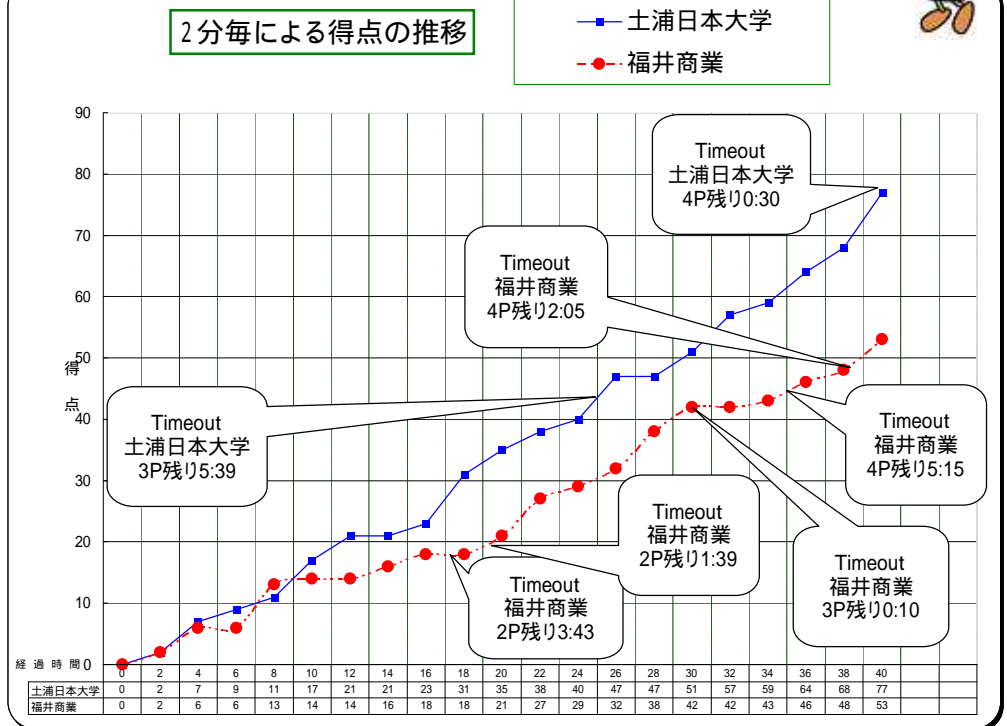
土浦日本大学

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	山田祥子	✓	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	7
5	橋本千恵	✓	10	0	0	5	9	0	4	0	1	7	0	1	0	2	18
6	小沼めぐみ	X	13	1	3	5	10	0	0	3	2	4	5	1	8	0	39
7	淀野潮里	X	13	0	1	6	9	1	2	4	0	5	3	2	4	0	39
8	君山舞夕奈	X	19	4	5	2	6	3	3	2	0	4	0	3	1	0	33
9	近内郁実	X	3	1	2	0	1	0	0	4	1	3	3	1	1	0	27
10	飯田朋美	✓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11	高嶋夏美	✓	5	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1	1	2	0	12
12	西川恵	✓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
13	谷村咲姫	X	12	0	0	5	10	2	4	3	4	10	3	0	2	2	21
14	伊藤早紀	✓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15	沼尻阿純	✓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1
コーチ	三須由雄									0	2	6	1				
出場: ×は先発、/は出場		77	7	12	25	47	6	13	18	10	39	18	9	18	4		200
確率		58.3%			53.2%			46.2%									
										計	49						

福井商業

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	貝川加倫	✓	5	0	1	2	8	1	5	0	3	2	4	0	4	0	23
5	富永藍	X	20	0	5	8	13	4	7	2	1	2	1	2	2	0	39
6	阿部幸乃	X	3	1	11	0	1	0	0	1	0	0	2	1	0	0	15
7	藤倉綾香	X	0	0	1	0	3	0	0	4	4	7	0	2	0	0	31
8	坪井梨絵	✓	3	1	5	0	1	0	0	3	0	0	2	1	0	0	21
9	橋本実和	✓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
10	大久保真紀	✓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11	糸魚川朋子	X	12	1	3	4	11	1	2	4	2	5	5	1	0	0	34
12	伊藤純	X	10	0	1	4	6	2	4	1	1	4	1	1	0	1	34
13	渡辺翔子																DNP
14	吉田佳保里																DNP
15	森愛生																DNP
コーチ	林和男									0	4	1	0				
出場: ×は先発、/は出場		53	3	27	18	43	8	18	15	15	21	15	8	6	1		200
確率		11.1%			41.9%			44.4%									
										計	36						

2分毎による得点の推移



戦評

1、2回戦とも僅差ながら、#5富永のゲームメイクで勝負強さを発揮した福井商業と初戦の劇的勝利で波にのり、安定した戦い方で地元山村学園を下した土浦日本大学の対戦は共にハーフコートマンツーマンで始まった。序盤はお互い固さが見られ、思うように攻めきれない。それでも土浦日本大学は、#5橋本のゴール下、#8君山の3Pと中、外をうまく使い分ける。福井商業はスクリーンを利用したドライブインで応戦する。終盤、土浦日本大学が#5橋本のゴール下等、4連続ゴールで、17対14とリードする。

第2Pは福井商業に重い時間が続く。オールコートマンツーマンに変え、守りからリズムを掴み始めたいところを土浦日本大学は動揺せず、インサイドの#5橋本、#13谷村、アウトサイドの#8君山の3Pと着実に加点する。一方、福井商業は攻撃の足が止まり、うまく噛み合わない。終盤の2度のタイムアウトも効果のないまま、35対21で土浦日本大学がリードし前半を終える。

後半何としても巻き返したい福井商業は#5富永のゲームメイクに託す。オールコートマンツーマンでプレッシャーをかけ、自らのドライブインや#11糸魚川のドライブイン、#6阿部の3Pで残り5分には8点差まで追いつける。一時、土浦日本大学に離されるも、終盤、得意の足を使った攻めで51対42とし、第4Pに望みを託す。

第4P、徹底してインサイドを攻める土浦日本大学が引き離す。起死回生を狙い#6阿部の3Pに託すが、ことごとく入らない。結局、内外角をリズムよく攻めた土浦日本大学が終盤メンバーを総入れ代えする余裕を見せ、77対53で勝利しベスト8進出を決めた。

主審	山内 俊幸	副審	中江 洋美	戦評	森保 剛志 (埼玉県高体連)
----	-------	----	-------	----	----------------